



10月になりました



澄み切った青空が広がり、過ごしやすい季節となりました。爽やかな秋晴れの下、子どもたちは戸外で元気いっぱい遊んでいることでしょう。気温差もありますので、体調に気を付けてお過ごしください。

☆クセはなぜ出るのか？

特に、4歳ごろは、60%の子は何か集中しているときに「クセ」と言われるいろんな行動が見られます。「クセ」の一つに、ブツブツ独り言を話すことがあります。これは自分のしていることを言葉に出して整理しているのです。また、絵本の読み聞かせの時などに、指を鼻に入れたり、足をいじったり、指吸いをしたりするなどの「クセ」として現われてきます。1歳の時によく見られる指吸いは、不安な気持ちを和らげる働きをしています。お気に入りのタオルやお人形など、片時も離さず、ずっと持っている姿はとても印象的です。しかし、4歳ごろに見られる指吸いは、1歳児の指吸いとはまた違った意味をもつようです。何か集中している時、注意を集中させている時、気持ちを押えている時などに、指吸いや爪かみ、鼻いじりなどのさまざまなクセが出てきます。このクセの原因は明らかになっていませんが、次のようなことが考えられます。体験する力が中心であったそれまでとは異なり、新しく考えるという力を身につけ始める時、子どもは無意識にでも何かを支えとして、次の新しい発達の力を育てていきます。そのため、クセは無意識に出ているので、子ども自身は意識していません。クセは、集中するために出てくる行為なので、周りが黙らせたり、やめさせたりする必要はありません。自然となくなっていくます。クセを精神上の問題として、また、その子自身の弱さとして、「またそんなことをして！」と指摘したりしないでください。指摘ばかりすると、伸びていこうとする力が委縮されてしまいます。あるがままを受け止めてあげることで、子どもが本来向くべき力へエネルギーをかけるようになっていきます。

「汚いことば」

この時期には、乱暴で汚いことばを使ったり、今まで生活面でいいにしていたことを乱暴に扱うことがあります。アンケートの中でも、ことばづかいの悪さを気にするお母さんがおられました。使ってほしくないことばを使ってしまうことに、どう対応したら良いか分

からないという意見です。「片づけをしなさい」というと「今忙しいの。そんなに言うなら、お母さんがしたら」とか「ほっといて!」「うるさいな」と、汚いことばが次々出てきて、親は子どもの人格が変わったのではないかと心配してしまいます。これは、ことばを自由に使えるようになり、とても楽しい時期であると同時に、乱暴なことばを使うことも新鮮に映る時期です。相手の反応を確かめたり、驚いたり怒ったりするのをおもしろがっているのです。意味を十分に理解せずに、そのことばを使っているので、人を傷つけたり、不愉快を与えることばを使った時には、その都度、大人がいけないということを教えていきましょう。

参考文献 『子どもの「困った」を理解する』 長崎順子・山本喜久子・山本弥栄子 著

※個別相談も行っています。職員とゆっくり話がしたい、子どもの発達状況を知りたいなどございましたら、担当職員の方にお知らせください。

11月のさくらんぼ教室は…さんぽをします

🍒 さくらんぼ教室①…11月12日(木)

🍒 さくらんぼ教室②…11月26日(木)

★持って来るもの：水筒、帽子、動きやすい服、動きやすい靴

※保護者の方も動きやすい服装でお願いします。

『参加される皆様へ』 ～ご協力をお願いします～

- ・お休みをされる場合は、学園までご連絡ください
- ・参加費は無料です。（おたよりがホームページに掲載され、通信費が必要ないため）製作やクッキングの活動の時には材料費として100円いただきます。その都度連絡します
- ・水分補給のため、お茶を用意して下さい（ジュース類は控えてください）
- ・きょうだい児の参加はご遠慮ください。預け先がない場合は事前に職員までご相談ください。
- ・トラブルによるケガ防止のため、参加前に爪を必ず切ってきてください

